



対象地域：渋谷周辺 半径2km圏

【小見出し】

体で感じる東京の地形をチャリで記述する。

渋谷周辺を実際に走り、体感する事（凡例参照）を擬声語（オノマトペ）によって表現する。普段は感じにくくなっている東京の地形を、わざわざチャリ（自転車）をこいでみることによって身体で感じた事をノーテートする。

敢えてローテクな事を試みることで、五感によって東京を感じる。チャリを使うことによって、よりその身体感覚が増幅する。チャリ特有のオノマトペは、東京を表す。

作図手順は、6月中旬～7月中旬の土曜日の午後、大橋ジャンクションを中心とした直径4 km、8ルートを2～4人で走る。感じたことがあるところで立ち止まり、地図に印をつけていく。その印をもとにして、オノマトペを描く。チャリによる東京のリーディングマップが完成する。

【オノマトペ凡例】

・坂を上るところ



・坂を下るところ



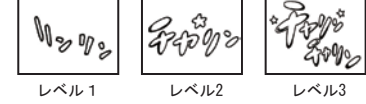
・まっすぐ気持ち良く走れたところ



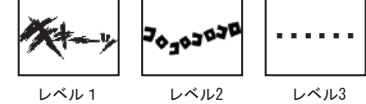
・段差を感じたところ



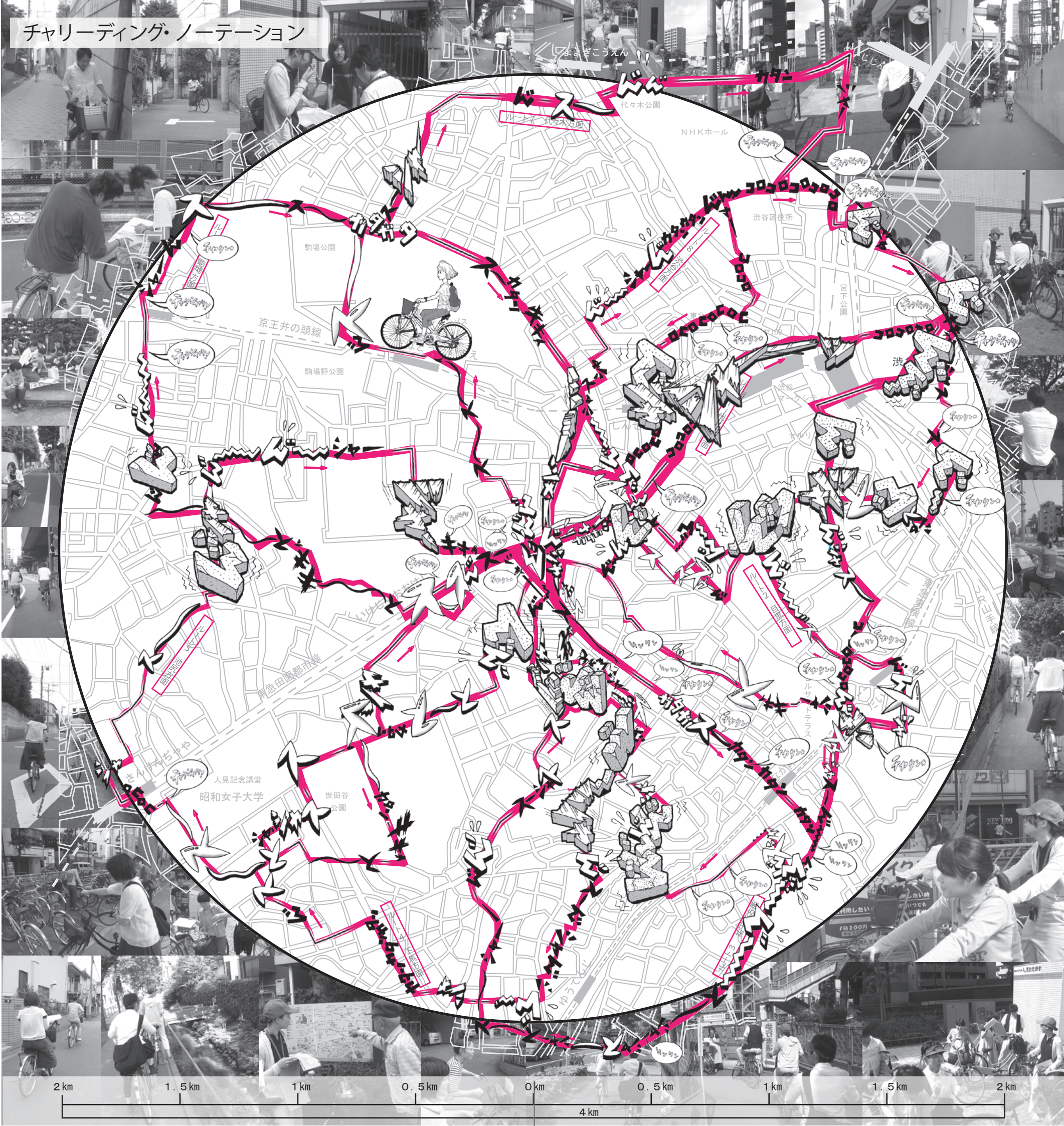
・ペルを鳴らしたくなったところ



・ブレーキを掛けた・自転車を降りて・止まったところ



チャリディング・ノーテーション



【ルートデータ】

ルート1 代官山方面

日時：2009年6月13日（土）14時/距離：6.64km/
所要時間：150分/人数：2人/
体感記：スタートしてから大坂上のあたりで、早速立ち滞りをしてしまう程の坂に出会う。道玄坂に入ると、土曜の午後ということもあり、人が多すぎて自転車を降りざるを得なかった。路上駐車がも多いので車道は走れず、自転車を押しながら歩道を上る。渋谷駅を抜けセリアアンター裏に、思わず「げっ」と言ってしまう程の坂があり、そこからアップダウンの激しい道が続いた。代官山に近づくにつれ、また人が多くなった。旧山手通りの一帯の下り坂は緑が多くとても気持ち良かった。

ルート2 目黒方面

日時：2009年6月20日（土）14時/距離：7.04km/
所要時間：90分/人数：4人/
体感記：全体的に坂が多くアップダウンが激しかった。代官山周辺は細い道が多かった。駅周辺はお店も多く、楽しかったが、人が多く走りづらかった。直線の道が少なく何度も迷いそうになった。地図には道があるのに、実際は階段しかなく、自転車をかきつけて降りた場所があった。

ルート3 祐天寺方面

日時：2009年7月11日（土）15時/距離：6.22km/
所要時間：90分/人数：2人/
体感記：山手通りは平坦で人が多い。駒沢通りは急な上り坂を上がると、オシャレなインテリアショップが並ぶ。山を越えると下り坂。祐天寺方面へ曲がると住宅地に入り、道に椅子を出して話しているおばさんがいたりする。住宅地には上り坂と下り坂がある。

ルート4 下馬方面

日時：2009年7月11日（土）13時半/距離：6.70km/
所要時間：80分/人数：3人/
体感記：山手通りから住宅街に入るとアップダウンが続き、所々急な坂があったので、かなり早い段階で立ち滞りをした。住宅街は生垣など緑が多く、人や車が少なかったので気持ちよく走れたが、目印がないので道が分かりにくかった。三軒通りは道幅が広く走りやすかった。

ルート5 池尻方面

日時：2009年7月11日（土）15時/距離：7.0km/
所要時間：80分/人数：2人/
体感記：国道246号線より南方は、主に団地で、大きく区画された道路が多いので、平坦で真っ直ぐな道が多かった。北方は、割りと起伏が激しく辛かった。2箇所ほど、地図上で表記されているのに、私有地内で侵入不可の道に遭遇した。

ルート6 駒場方面

日時：2009年6月20日（土）14時/距離：6.07km/
所要時間：90分/人数：3人/
体感記：池尻大橋前は人が多い。緑道沿いは景色が良く、水辺がとても気持ち良かった。緑道を抜けたと上り坂が始まった。池之上駅付近は人混みがはげしい。その後は平坦な道を越え、舗装が良くない道。松涛交差点より急な下り坂を走る。

ルート7 代々木方面

日時：2009年7月11日（土）15時/距離：7.75km/
所要時間：80分/人数：1人/
体感記：大橋ジャンクションから代々木公園前までは平坦で走りやすかった。代々木公園の坂は長くきつかった。また代々木公園でイベントをしていて人が多く走りづらかった。渋谷（東急ハンスから東急百貨店）は人が多かったためほぼ自転車から降りて歩いた。

ルート8 渋谷方面

日時：2009年6月20日（土）14時/距離：7.09km/所要時間：150分（迷った時間含む）/人数：4人
体感記：国道246号線から猿楽橋までの道は下り坂が多く走りやすかった。ただコンビニ等の目印になるようなものがなく、道に迷ってしまった。山手線を越える時、線路の上を通るかわり道で全然違う所に行ってしまうのでここでも道に迷ってしまった。国道246号線を渡る時は、一度横断歩道を逸すと渡りたい時に渡れなくなることが痛感した。デモ活動が行われていた箇所は、人が多く通り抜けるのに時間がかった。松涛の住宅街はきれいに舗装されていて、下り坂が続いたのでとても走りやすかった。